



信州ブランドフォーラム 2011

開催レポート

2011.11.25.[金]

於 長野市生涯学習センター

[信州ブランドフォーラム開催実行委員会]

順不同・敬称略

主催／信州ブランドフォーラム開催実行委員会

長野県デザイン振興協会 ※代表機関 長野県 信州大学 長野大学
(社)長野県経営者協会 (社)長野県商工会議所連合会
長野県中小企業団体中央会 長野県商工会連合会

特別後援／信濃毎日新聞社 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州
abn長野朝日放送

後援／長野県教育委員会 長野県市長会 長野県町村会 長野市 松本市 上田市 塩尻市
(社)信州・長野県観光協会 信州・長野県物産振興協会
長野県農村生活マイスター協会 長野県農業経営者協会 (財)長野県テクノ財団
長野県印刷工業組合 日本貿易振興機構長野貿易情報センター
一般社団法人長野県発明協会 (財)長野県中小企業振興センター (財)長野経済研究所
長野県工業会 (社)長野県食品工業協会 日本弁理士会東海支部長野委員会

特別協賛／    ながの東急百貨店

協賛／アド・コマーシャル(株) (株)エイブルデザイン オリオン機械(株) カシヨ(株)
(株)共立プランニング (株)サンクゼール 専門学校未来ビジネスカレッジ
松本医療福祉専門学校 松本情報工科専門学校 第一企画(株) (株)デザインカロ
(有)デザインスタジオ・エル (株)ながのアド・ビューロ (株)文栄社

01 開会セレモニー 1

主催各機関代表登壇

[2011開催テーマ]

地域ブランドづくりの仕組みをオール信州で！



左から、信州ブランドフォーラム開催実行委員会、長野大学、信州大学、長野県、長野県デザイン振興協会、
(社)長野県経営者協会、(社)長野県商工会議所連合会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会連合会の各代表者

02 開会セレモニー 2

主催者代表挨拶 長野県デザイン振興協会 田幸会長



第8回目となるこのフォーラムは、今や長野県下でブランドづくりを進める中核的な催しになりました。これからも地域ぐるみでブランドづくりを進めることは、益々大切になって参ります。これを契機に、更に創造的な連携を広げて行きましょう。

03 開会セレモニー 3

主催者挨拶 長野県企画部企画課 岩嶋課長



県においても長野県の地域ブランド確立は大切な課題と捉えています。県のイメージアップや産・学・官が連携し地域の特性を活かしたブランド創出の促進、また発信力の向上を、中期総合計画にも挙げて進めているところです。

04 開会セレモニー 4

開会宣言 信州ブランドフォーラム開催実行委員会 深沢委員長



オール信州でブランドづくりを進める合意を形成し、長野県独自の仕組みを充実・強化するよう連携を広げて参りましょう。開催準備に熱意を持ってご尽力・ご支援いただいた皆様にご感謝申し上げます、ここに「信州ブランドフォーラム2011」を開会します。

05 デザインコンペ “Life Design信州2011” 発表・表彰式 1

経過説明 1 デザインコンペ推進委員会 轟委員長



このコンペは、長野県下のブランドづくりを担う次代のデザイナーやクリエイターを発掘・育成するため、07年にスタートしてこれで5回目になります。信州の素晴らしい資源を基にデザインし、地域産業の発展につながることを意図しています。

06 デザインコンペ “Life Design信州2011” 発表・表彰式 2

経過説明 2 公開選考会の様子 `11年10月27日(木) 於 長野市生涯学習センター

[選考委員(順不同・敬称略)]

長野大学 禹在勇(企業情報学部教授) / (有)MIE Design 内田 和美(プロダクトデザイナー) / (株)博報堂 長嶋りかこ(デザイナー) / (株)ドラフト D-BROSプロジェクト 植原 亮輔(アートディレクター) / 長野県デザイン振興協会 土屋修三(人材育成委員長)※選考委員長



今回は“信州の水”をテーマに募集したところ、応募総数はこれまでの3倍を超える358になりました。その内、学生は4割から7割に、また県外も4割から7割に増えたのが目立ちます。信州へのデザイン提案が全国に広がりを見せました。

07 デザインコンペ “Life Design信州2011” 発表・表彰式 3

選考講評 禹選考委員



信州の水の清らかで純粋な魅力を表現したデザインが大勢でした。しかしただ表現するに留まらず、テーマにまつわる地域の問題や課題を捉え、それをどう解決するかをデザインするところに踏み込んだ提案が、もっと増えて欲しいと思います。

08 デザインコンペ “Life Design信州2011” 発表・表彰式 4

喜びの各賞受賞者



グランプリ受賞 相澤さん

前列左から、提案部門賞：平田昌大さん(さいたま市)、グランプリ：相澤徳行さん(長野市)、田幸県デザイン振興協会会長、禹在勇選考委員、後列左から、選考委員特別賞：篠原亜理沙さん(上田市)、選考委員特別賞：大井川茂さん、中沢定幸さん(いづれも長野市)、PR部門賞：宮下ひろみさん(長野市)、学生特別賞：滝沢啓さん(上田市)の皆様。 ※審査委員特別賞2名、ユニバーサルデザイン賞1名、学生特別賞2名は欠席

09 ブランドづくり支援事例発表 1

「長野県のブランドづくり支援の現状」 長野県地域資源製品開発支援センター 総合プロデューサー 鈴木 進 氏



2008年に長野県として地域資源製品開発支援センターを設けてから4年余、デザイン振興協会をはじめとする県下の産・学・官の専門性をコーディネートし、信州発のブランドをつくろうとする活動は着々と根付いて実績を増やしつつあります。

10 ブランドづくり支援事例発表 2

「ユニバーサルデザイン不凍栓『ワンプッシュ』のデザイン支援」 長野県デザイン振興協会・UD研究部会 赤羽 学 氏



ユニバーサルデザイン不凍栓『ワンプッシュ』のデザイン支援

1:製品紹介

不凍栓柱 D-MU

業界初！「押すだけ」簡単水抜き

「押すだけ」簡単操作で、水道の凍結防止が可能。

分かりやすい表示

「水抜き」「通水」操作状態が分かるアイコン表示。
「水抜き」状態はイエローラインで表示。

誤操作防止のロック機能

誤操作を防止するロック機能付。
水抜き時の「ロック」「ロック解除」切り替え。



何もしなければ円筒形の金属の棒にしか見えません。それも基に、誰にでも使い易い新しいタイプの不凍栓となるよう、随所に工夫を入れてデザインしました。「ワンプッシュ」というネーミングもなるべくシンプルに伝わり易くという狙いからです。

11 ブランドづくり支援事例発表 3

「百草ノンアルコール “BITTER NATURE Rich,, の販促デザイン支援」 ゼスト 代表 川上 良一 氏



「木曾生まれ」「キハダの苦味」「ビールっぽい」伝えたい個性・特徴は明快でした。また要素として御岳山は外せない、カラーは御岳ブルー、ナチュラルでビターな味わい……それらを素直に組み合わせ、木曾特産の顔になるようデザインしました。

12 ブランドづくり支援事例発表 4

「若者×地域が生み出す旅行事業と観光ブランディング」 信州大学産学官連携推進本部 林 靖人 氏



認知度が低い大町市を対象に、若者に向けた地域資源・水資源の楽しみ方を盛込んだ旅のプランを提案しました。「ファッションをきっかけに」「学びではなく五感で楽しむ」「コンテストの活用」等学生ならではのアイデアがポイントです。

09 “信州ブランドアワード2011” 発表・表彰式 1

経過説明 1 ノミネート委員会:中村委員長



本アワードは、信州から発する内外に誇れる優れたブランドを、独自の5つの指標で選考・表彰するユニークな事業です。これによって信州のブランドが目指す方向性を示し、地域産業の自立的発展につながることを目指しています。

10 “信州ブランドアワード2011” 発表・表彰式 2

経過説明 2 最終選考会の様子 `11年10月13日(木) 於長野市 ホテル国際21

[選考委員(順不同・敬称略)]

信州ブランドフォーラム開催実行委員会 委員長 深沢 賢一郎(選考委員長)／(社)長野県経営者協会 専務理事 関 安雄／
長野県企画部企画課 課長 岩嶋 敏男／ 長野県地域資源製品開発支援センター 総合プロデューサー 鈴木 進／
(財)長野経済研究所 調査部長 小澤 吉則／法政大学大学院政策創造研究科 教授 中嶋 聞多／
長野県デザイン振興協会常任理事 土屋 修三



今春から約半年掛け、募集と推薦により集まった26ブランドを対象にノミネート作業を進めました。その中から10月の最終選考会での審議により12ブランドが入選、その中から大賞1、特別賞3、長野県知事賞1の各賞が決まりました。

11 “信州ブランドアワード2011” 発表・表彰式 3

選考結果発表・講評 アワード選考委員会 深沢委員長



これまで受賞を辞退するブランドが幾つかありましたが、今回は一つもありませんでした。また、ノミネートされる分野に全体として広がりが見られ、これもこのアワードを通じて県下にブランドづくりが浸透しつつある結果で、大変好ましく思いました。

12 “信州ブランドアワード2011” 発表・表彰式 4

各賞授与



上左から、大賞:「信州サーモン」信州サーモン振興協議会、長野県知事賞:「信州上田フィルムコミッション」上田観光コンベンション協会、下左から、特別賞「野沢温泉スキー場」株式会社野沢温泉、特別賞:「大鹿歌舞伎」大鹿歌舞伎保存会、特別賞:「アルクマ」信州キャンペーン実行委員会 の皆様。

13 “信州ブランドアワード2011” 発表・表彰式 5

喜びの各賞受賞者と主催者



受賞者の皆様大変おめでとうございます。これを機に信州を代表するブランドとして益々魅力を発揮して輝きを放ち、後進の目標になっていただくことを期待します。

14 パネル討論 1

「どうする？ 信州のブランドづくり ～資源を活かし地域の魅力をたかめるには～」



信州の自然はどこにも負けない魅力がありながら、そこから価値を創出し、発信することが足りません。信州全体のブランドづくりの方向性は、地域資源に観光、農業、ものづくりといった人の営みが加わり、更に美しくするというところでどうでしょう。

15 パネル討論 2

上左:長野県知事 阿部守一 氏、上右:(株)サンクゼール代表取締役 久世良三 氏

下左:長野経済研究所調査部長 小澤良則 氏、長野県地域資源製品開発支援センター総合プロデューサー 鈴木 進 氏



ブランドとは無形の資産、資源に恵まれた信州は従来それをあまり意識せずともそれなりに認知されて来ました。しかし今後はもっとそれを自覚し、利便性のために失われた地域の美しさを見直し再生して、ブランド価値を一緒に高めて行きましょう。

16 パネル討論 3

パネラーの熱心な意見交換と聴き入る会場の様子



信州が美しさで突出する戦略と、それを実現する継続的な政策が必要です。県と県民が合意を形成し、そこに向かって一体になり大胆な舵取りを行なう時が来ています。特にそれを具体的に構想し表現する、デザインの力は重要になります。

17 招待講演 1

「京都ブランドの強さの秘密 ～古都の資源を活かす知恵と仕組み～」

京都工芸繊維大学 大学院教授 久保 雅義 氏

「京都ブランド」は強いブランド(パワーブランド)?

認知は高い が 強いブランド(パワーブランド)ではない



京都には、農産物、食品、工芸品、名所旧跡他、広く知られているブランドが多くあります。しかし、認知度が高い割りに強いブランドかと言うと必ずしもそうでもない、その問題意識を共有し改善する取り組みが京都全体で連携して始まっています。

18 招待講演 2



おもてなしと美意識

- ①おもてなし側ともてなされる側のレベルアップ
- 茶の湯にみるお互いの気持ちが一つになる仕掛け
- ②美しい立ち居振る舞い- 出しゃばらず 立ち入らず 緊張感ある所作



おもてなしと美意識

- ③餅は餅屋- 専門家としての独自スキル体系づくり
- ④一見さんお断り- 囲い込みとファンづくり- ブランドづくり



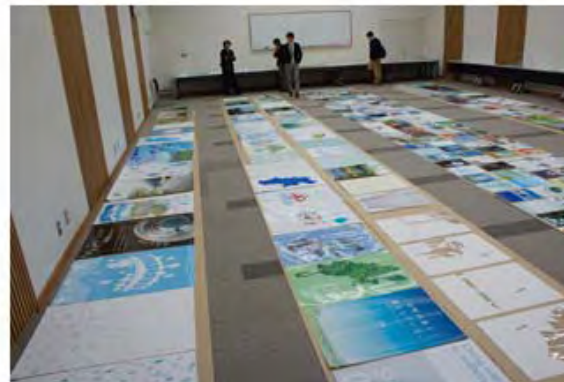
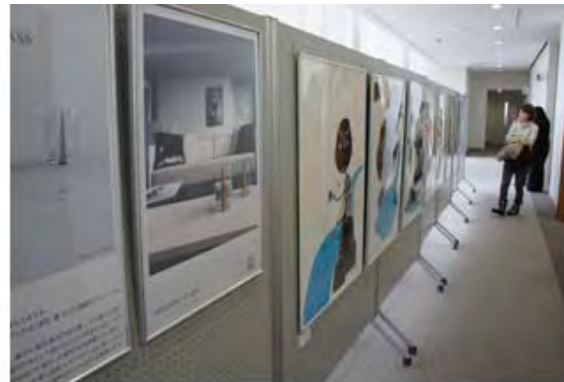
京都の都市格を高めて行こうとする中で、結局ブランドは人々の心の中につくられるので、京都の「おもてなし」や「美意識」といった心の問題が重要と考えるようになりました。それには特に、京都ならではの感性を磨き知識を広げることが必要です。

19 “信州ブランドアワード2011” 入選展示



本年新たに選出された12ブランド(大賞1、長野知事賞1、特別賞3、入選7)の概要、また各々の選出理由を「志向性」「表現性」「情報伝達性」「地域性」「継続発展性」の5つの指標で示したパネルと資料を展示しました。

20 デザインコンペ “Life Design信州2011” 展示



各章受賞を含む20の入選作を中心に、全国から寄せられた358作品を展示しました。「信州の水」にまつわる農産物、工芸品、自然等、各分野に展開された商品やPRのデザイン提案の数々からは、この地を想う優しい創造性が感じられました。

21 ブランドづくり支援事例発表展示



長野県地域資源製品開発支援センターに寄せられるブランドづくりやデザインの要請に、長野県デザイン振興協会の会員が専門性を発揮して応えた産官協調による支援事例を、パネルと実際の成果物を展示して紹介しました。

22 交流会

ホテルJALシティ長野 16階「スカイバンケット白馬」



信州から発するブランドづくりの活性化に向けて、県下の事業者やデザイナー・クリエイターが、立場や世代を超えて熱く、楽しく語り合いました。我々のふるさと信州の価値を高める今後を共有して、創造的な連携広げ交流を深めました。

23 その他の場面



上段左から、当日のTOiGO前広場、TOiGO正面玄関、TOiGO前広場の夜景、下段左から、会場受付の様子、特別出演「アルクマ」登場、ネットによるライブ配信作業、司会進行のSBC聲山アナ。

本フォーラムの開催にご支援・ご尽力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。
ここで共有した想いを育み、今後も信州発のブランドづくりを地域ぐるみで進めましょう。

